



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

味覚ワークショップを取り入れた
食育と食をテーマにした観光振興事業

金丸 弘美 (かなまる ひろみ)

食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー



○ 登録者情報

所在地

大阪府大阪市

略歴

1952年佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー。執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、ワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開、公開授業、大学から幼稚園まで各学校での食の講師なども手がける。執筆活動のテーマは、地域デザイン、食育と味覚ワークショップ、食からの地域再生、環境問題、地域活性化。とくに農業、食材に関してはここ15年で北海道から沖縄まで全国の農村や町など1000ヶ所を取材。内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師。総務省地域力創造アドバイザー。明治大学農学部食料環境政策学科兼任講師。フェリス女子学院大学国際交流学科専門科目「地域と食文化」非常勤講師。日本ベンクラブ会員。小笠原諸島振興開発審議会委員(国土交通省)。新潟経営大学特命教授。学校給食等地域食材利用拡大委員会委員(農水省)。ライターズネットワーク相談役。茨城県常陸太田市大使。高知県観光特使。食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使(山形県)。山形県総合政策審議会委員。香川県さぬきうまいもんプロジェクト実行委員会委員。特定非営利活動法人発酵文化推進機構 特任研究員

著書・論文等

著書『ゆらしいの島のスローライフ』(学研 2004年2月)、『子どもに伝えたい本物の食』(NTT出版 2006年3月)、『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店2007年8月)、『給食で育つ賢い子ども 全国おいしい学校給食マップ』(ソトコト新書 2008年5月)、『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK生活人新書 2009年8月)、『「地元」の力 地域力創造 7つの法則』(NTT出版 2010年8月)、『地域ブランドを引き出す力 トータルマネジメントが田舎を変える!』(合同出版 2011年7月)、『幸福な田舎のつくりかた:地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版社 2012年9月)、『実践! 田舎力—小さくても経済が回る5つの方法』(NHK出版新書 2013年8月)、『美味しい田舎のつくりかた:地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版 2014年9月)、『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書 2015年12月)、「タカラは足元にあり! 地方経済活性化戦略」(合同出版 2016年2月)、「田舎の力が 未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革」(合同出版 2017年11月)2013年8月『幸福な田舎のつくりかた:地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版)2014年11月『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK出版)2014年9月『美味しい田舎のつくりかた:地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)2015年12月『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川書店)2016年2月『タカラは足元にあり! 地方経済活性化戦略』(合同出版)2017年10月『田舎の力が 未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』(合同出版)2018年9月『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)2018年10月『地域の食をブランドにする! 食のテキストを作ろう』(岩波書店)など多数。

○ 味覚ワークショップを取り入れた食育と食をテーマにした観光振興事業

取組の内容

2001年から千葉、東京の農家と連携したワークショップを毎年開催してきました。農家の生産の現場と素材から知り料理まで作ります。現在は高知県農業創造人材育成事業、小美玉市産業経済部事業、明治大学農学部などの課外授業の牧場の料理会として続いています。2001年には家族が奄美諸島徳之島に移住したことから2004年に伊仙町の「長寿癒し交流事業」の依頼で1,200名の長寿の食の調査を行いシンポジウムを行いました。これをベースに、東京の旅行会社と農家の食と自然を楽しむワークショップ型のツアーを実施しています。これまで3回行われました。2006年には日本で初めての分県の大分県の「食育事業アドバイザー」に請われて就任。2006年から竹田市、佐伯市、2007年から玖珠町、豊後大野市で食育ワークショップをマタニティ教室、保育園、小学校、中学、高校、一般向けまで行いました。行政、学校、農家、漁師、商店街、料理家を横断しての取り組みです。また地域素材のテキストを作成し、その背景、歴史、栽培法、加工、料理までを知るという手法です。素材の味覚を知り、食育が地域のブランド作りから観光、商品開発まで結びつくようにマーケティングの要素を入れた手法を年間計画を立てて実施しました。この手法は2006年佐賀県唐津玄海食のプロジェクトとなり、その後2006年長崎県平戸松観光人材育成協議会地域活性化事業、2008～2010年総務省地域力創造アドバイザー事業(常陸太田市や岡山県奈義町の食のブランド事業など)、農林水産省ブランド化推進事業(高山市「宿讎(すくな)かぼちゃ」)、兵庫県豊岡市「コウノトリを育むお米」のプロモーション事業、香川県高松市丸亀町商店街「食プロジェクト」などに引き継がれています。高知県では県の、小美玉市では市の事業になりました。食のテキスト化は農水省の事業に採用されました。



原木栽培のシイタケ刈りからの料理会(佐賀県唐津市)



手作り味噌での学校給食(大分県佐伯市)

実績

2001年からの東京での農家や料理家とのワークショップは総動員は1,000名以上。現在の明治大学農学部の八王子での牧場の料理会は30名で年1回開催。2004年に鹿児島県大島郡伊仙町で長寿の食調査1,200名に基づくシンポジウムとウォーキングが開催され島内外から800名が参加。2006年から2008年大分県の食育事業、2006年唐津玄海食プロジェクト、平戸松浦観光人材開発事業は、すべてテキスト作成から少数(15名から100名程度)でのワークショップを展開。開催は3年間で50本を超えています。2008年には、総務省地域力創造アドバイザーとして茨城県常陸太田市の食からの地域づくりに参加。蕎麦、ぶどう、米のブランド化、学校給食の地域農産物の拡大のプランニングからプロモーションを手がける。素材のテキスト作成からワークショップを組み合わせ、マスコミにブックニングさせるプロモーションを半年で6本を展開した。新聞、雑誌、ラジオ、テレビなど36媒体に露出させた。また地域の横断組織をつくり、外部の料理家や食の専門家を導入し、食のブランド化に新しい視点を注入。総務省でもトップクラスの評価をうけた。常陸太田市でも高い評価をうけて市の予算で継続した形でアドバイザー事業を行なうこととなる。その後高知県農業創造人材育成事業では先進地の合宿研修とテキスト化と食のワークショップの融合形に発展した事業となり2年で約80名近くが参加し大きな成果を生んだ。6次産業の基礎モデルとなり「宣伝会議」別冊「人間会議」2011年秋号で24ページの特集となる。

工夫した点や苦勞した点

まったくゼロからワークショップを行うために年間計画を立て、各地の事例をパワーポイントで紹介。素材のテキストを作成しました。またできるだけ地域の歴史的建造物や農家を解放してもらうなど、地域のよさを前面に出す形としました。さらに料理家と連携して新しい食が提案できる形にしています。地域ブランドづくりの手法として高く評価されている。子どもたちには味覚を使った五感教育を主体として表現の豊かさを引きだす取り組みを行っています。またマスコミを使つてのプロモーションを行い広く知らしめ、外部からの参加者を招き、それによって外からの視点と発見を得られるようにしています。



漁港と連携したお母さんのためのピヤベース講座(大分県佐伯市)



大妻女子大学牧場の料理会(八王子:磯沼ミルクファーム)

ひとことPR

テキストを作り横断組織で料理までを知ります。テキスト化を実施した常陸太田市の米、飛騨高山市の宿儺かぼちゃ、豊岡市の米、竹田市のサフランなどはブランド形成に大きな力をつた。参加型の食のワークショップは6次産業化の有効な手法として高い評価を受ける。またマスコミにプロモーションを行うのが特徴です。さらにこれまでの活動は単行本となり実績が残る形にしています。これまで媒体での登場は300媒体を超えています。地域づくりの手法を紹介をした『田舎カ〜ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK出版生活人新書)アマゾン「地域経済部門」第1位となりロングセラーとなる。



サフラン農家を解放してパエリアのフルコース(大分県竹田市)

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

| | | | | | |
|---|---|--------------|---|----|-------------|
| | 1 | 地域経営改革 | | 7 | まちなか再生 |
| ○ | 2 | 地場産品発掘・ブランド化 | | 8 | 若者自立支援 |
| | 3 | 少子化対策 | | 9 | 安心・安全なまちづくり |
| | 4 | 企業立地促進 | | 10 | 環境保全 |
| | 5 | 定住促進 | ○ | 11 | その他 |
| ○ | 6 | 観光振興・交流 | | | |

関連ホームページ

| | |
|-------------|---|
| 金丸弘美のスローライフ | http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php |
|-------------|---|